

2. 全学共通科目の履修

京都大学の教養・共通教育は、主として「全学共通科目」によって担われています。全学共通科目の多くは、各学部の枠を越えて原則として全学部の学生を対象として開講される授業科目です。

全学共通科目は、①人文・社会科学科目群、②自然科学科目群、③外国語科目群、④情報学科目群、⑤健康・スポーツ科目群、⑥キャリア形成科目群、⑦統合科学科目群、⑧少人数教育科目群の8つの科目群に区分され、開講されています。これをもとに各学部は、p.173以下に示すように、卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数を定めています。なお、平成27年度以前入学者については、従来のおりの卒業要件が適用され、平成24年度以前入学者は「全学共通科目授業一覧」(p.99～)の旧群に記載されているとおり科目毎にA、B、C、D、EXの5つの群に読み替えられることになり、平成25～27年度入学者はp.214の表のとおり読み替えられます。一部の科目は、単位を修得しても卒業に必要な単位としては認定されませんので注意してください。

平成30年度から上記の8つの科目群に加えて、⑨大学院共通科目群及び⑩大学院横断教育科目群が設けられ、大学院生を対象とした科目が開講されています。大学院生も上記①から⑧の科目を履修できますが、学部生を優先する科目があるほか、履修対象外の科目があります。

それぞれの科目群には、基礎から高度な内容にわたる多様な科目が提供されていますが、それらの科目の選択は基本的には学生諸君の自由な意志に委ねられています。この環境を生かし、限られた時間にいかに効果的に修得するかは、諸君の主體的な計画性に依るものです。高い志を持ち、学習計画を十分に吟味することを期待します。